

2017年9月24日実施

平成29年度（第57回）
情報処理検定試験
〈プログラミング部門〉
第1級 試験問題

注意事項

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 試験問題は9ページあります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入します。
4. 【1】【2】【3】【4】【5】【6】は共通問題です。
5. 【7】の問題はJava・マクロ言語のいずれか一つを選択し、解答用紙の選択言語を○で囲んでください。
6. 電卓などの計算用具は使用できません。
7. 筆記用具などの物品の貸借はできません。
8. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
9. 制限時間は60分です。

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

【1】 次の説明文に最も適した答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

1. システムの障害発生時に、人命の安全確保を優先し被害を最小限にする考え方。
2. 先に入力されたデータよりも、後に入力されたデータが先に取り出されるデータ構造。
3. TCP/IPネットワークを介して、ファイルの送受信を行うプロトコル。
4. システム開発において、利用者が要求する項目について調査・分析・整理したものをもとに、入出力画面や帳票を設計する工程。
5. データの改ざんや、なりすましが無いことを、公開鍵暗号方式などを利用して確認するしくみ。

解答群

- | | | |
|------------|-----------|------------|
| ア. プログラム設計 | イ. デジタル署名 | ウ. DMZ |
| エ. POP | オ. スタック | カ. フールプルーフ |
| キ. 外部設計 | ク. ログファイル | ケ. 内部設計 |
| コ. キュー | サ. FTP | シ. フェールセーフ |

【2】 次のA群の語句に最も関係の深い説明文をB群から選び、記号で答えなさい。

- <A群> 1. プロトタイプモデル 2. デバイスドライバ 3. 桁落ち
4. Cookie 5. MIPS

<B群>

- ア. 停電などの障害発生時に、コンピュータシステムを安全に終了させるために、一定時間電源を供給する装置。
- イ. データを効率よく転送させるために、主記憶装置と補助記憶装置の間に設置する記憶装置。
- ウ. コンピュータに接続して使用するプリンタなどの周辺装置を、動作させるためのソフトウェア。
- エ. システムを独立性の高いサブシステムに分割し、設計・プログラミング・テストの工程を繰り返し開発する手法。
- オ. ブラウザを通じてユーザのコンピュータに一時的に保存される、利用者の識別などに使われる情報。
- カ. コンピュータシステムの処理速度を表す単位の一つで、1秒間に処理できる命令数を100万単位で表したものの。
- キ. 浮動小数点演算で加減算をした結果が0に非常に近くなったときに、有効数字の桁数が極端に少なくなる現象。
- ク. 絶対値の大きさが極端に異なる数の加減算をしたときに、絶対値の小さい数の一部や全部が無視されてしまう現象。
- ケ. プログラムからデータが扱いやすい特徴があり、ユーザ独自のタグを指定できるマークアップ言語。
- コ. 試作品に対するユーザの評価を反映することにより、システムを開発する手法。

【3】 次の説明文に最も適した答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。

1. 16進数のFB.4を10進数で表したものの。
ア. 191.25 イ. 251.25 ウ. 252.25
2. 異機種間のデータ通信を可能とするために、プロトコルを機能別に7層に分割したネットワーク設計指針。
ア. OSI参照モデル イ. シンクライアント ウ. ウォータフォールモデル
3. 二つの入力が「0」と「1」または「1」と「0」のときだけ、「1」を出力する論理回路。
ア. OR回路 イ. AND回路 ウ. XOR回路
4. 疑似的に大量のデータやアクセスをコンピュータシステムに処理させることによって、実際の業務に耐えられるかどうかを調べるテスト。
ア. 負荷テスト イ. 単体テスト ウ. 退行テスト
5. 平均シーク時間が15ミリ秒で、7,500回転/分のハードディスク装置の平均待ち時間は何ミリ秒か。
ア. 8ミリ秒 イ. 19ミリ秒 ウ. 23ミリ秒

【 4 】 次の各問いに答えなさい。

問 1. 流れ図の説明を読んで、流れ図の(1)~(3)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

<流れ図の説明>

処理内容

配列に記憶した数値に順位をつけてディスプレイに表示する。

処理条件

1. 配列 Kiroku に数値を記憶する。なお、データ件数は n 件である。

配列

Kiroku	(0)	(1)	~	($n-2$)	($n-1$)
	14.5	10.9	~	12.7	11.3

2. 配列 Jun を利用し、配列 Kiroku の数値の昇順に順位をつけて、Kiroku と Jun の内容を表示する。なお、数値が同じ場合は同順位とする。

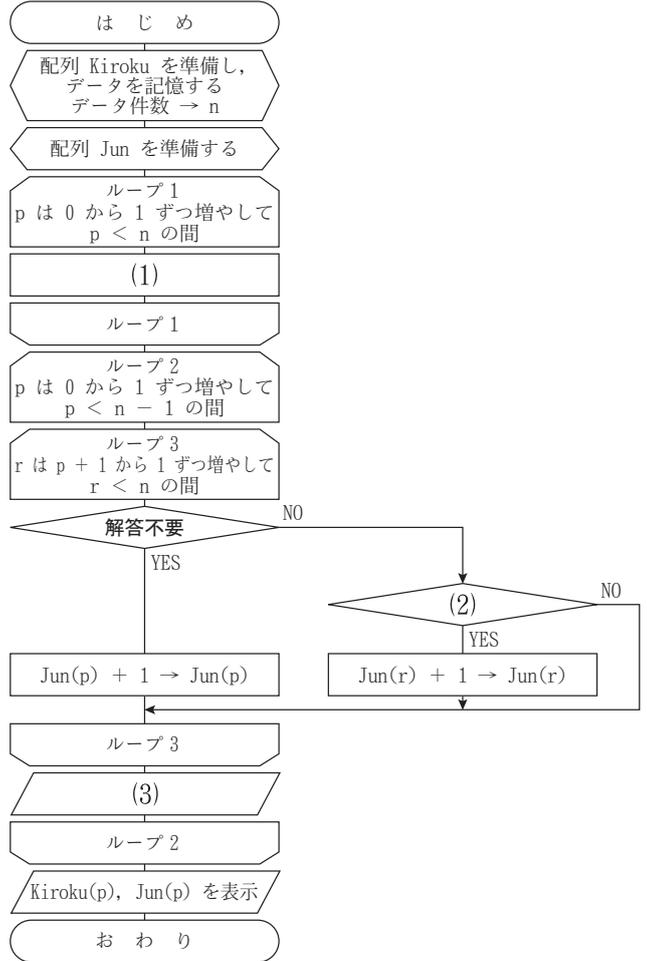
配列

Jun	(0)	(1)	~	($n-2$)	($n-1$)
			~		

解答群

- ア. $Kiroku(p) < Kiroku(r)$
- イ. $Kiroku(p), Jun(p)$ を表示
- ウ. $Kiroku(p) > Kiroku(r)$
- エ. $1 \rightarrow Jun(p)$
- オ. $0 \rightarrow Jun(p)$
- カ. $Kiroku(r), Jun(r)$ を表示

<流れ図>



問 2. 流れ図の説明を読んで、流れ図の(4)~(5)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

<流れ図の説明>

処理内容

配列に記憶した数値を並べ替えてディスプレイに表示する。

処理条件

1. 配列 Ten に数値を記憶する。なお、データ件数は n 件である。

配列

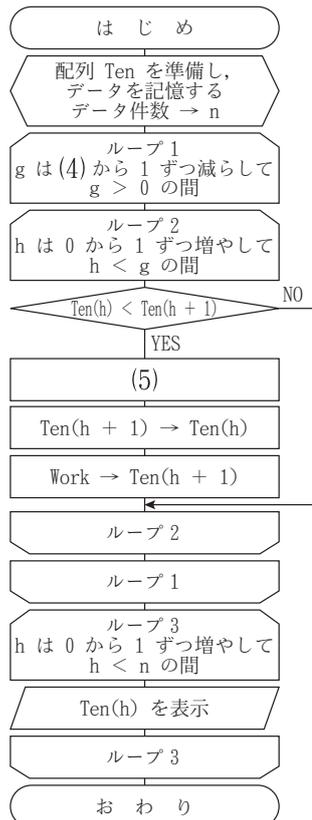
Ten	(0)	(1)	~	($n-2$)	($n-1$)
	58	85	~	97	35

2. 配列 Ten の数値を降順に並べ替える。
3. 並べ替えが終わったら、配列 Ten の内容を表示する。

解答群

- ア. $Ten(h) \rightarrow Work$
- イ. n
- ウ. $n - 1$
- エ. $Ten(h + 1) \rightarrow Work$

<流れ図>



【5】 流れ図の説明を読んで、流れ図の(1)～(5)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

<流れ図の説明>

処理内容

ある地点の高速道路の下り24時間（7時台～翌日6時台）の交通量調査データを読み、集計結果をディスプレイに表示する。

入力データ

日付 (Hiduke)	時刻 (Jikoku)	車種コード (Scode)
×～×	××××	×

(第1図)

実行結果

(9月△△日7時台～翌日6時台 下り24時間集計結果)					
(時間帯)	(大型乗用車)	(大型貨物車)	(二輪車)	(合計)	(大型混入率)
7時台	84	424	7	2,333	21.8
8時台	111	529	14	2,205	29.0
18時台	128	382	13	2,729	18.7
6時台	65	433	5	2,200	22.6
(昼計)	1,174	7,310	126	29,993	28.3
(夜計)	593	3,237	84	14,915	25.7
(昼夜比)	2.0	2.3	1.5	2.0	

(第2図)

処理条件

- 第1図のデータは、日付、時刻の昇順に記録されている。なお、車種コードは1（大型乗用車）～5（二輪車）であり、全ての時間帯で全ての車種のデータがある。また、時刻は時分の形式で次の例のように構成されている。

例 1810 → 18時10分

- 第1図の入力データを読み、時間帯が変わるごとに次の処理を行う。
 - 配列 Sya に車種コード別の件数を求める。なお、Sya の添字は車種コードと対応している。

配列

Sya	(0)	(1)	(2)	～	(5)	(6)
				～		
	(大型乗用車)	(大型貨物車)		～	(二輪車)	(合計)

- 大型混入率を次の計算式で求め、第2図のように表示する。

$$\text{大型混入率} = (\text{大型乗用車} + \text{大型貨物車}) \times 100 \div \text{合計}$$
- 配列 Kei の 0 行目に 7 時台～18 時台の 12 時間分の件数を昼計として求め、1 行目に 19 時台～6 時台の 12 時間分の件数を夜計として求める。なお、Kei の列方向の添字は配列 Sya の添字と対応している。

配列

Kei	(0)	(1)	(2)	～	(5)	(6)	
(0)				～			(昼計)
(1)				～			(夜計)

- 入力データが終了したら、昼計、夜計、昼夜比を第2図のように表示する。なお、昼夜比は配列 Tyu に次の計算式で求める。また、Tyu の添字は配列 Kei の列方向の添字と対応している。

昼夜比 = 昼計 ÷ 夜計

配列

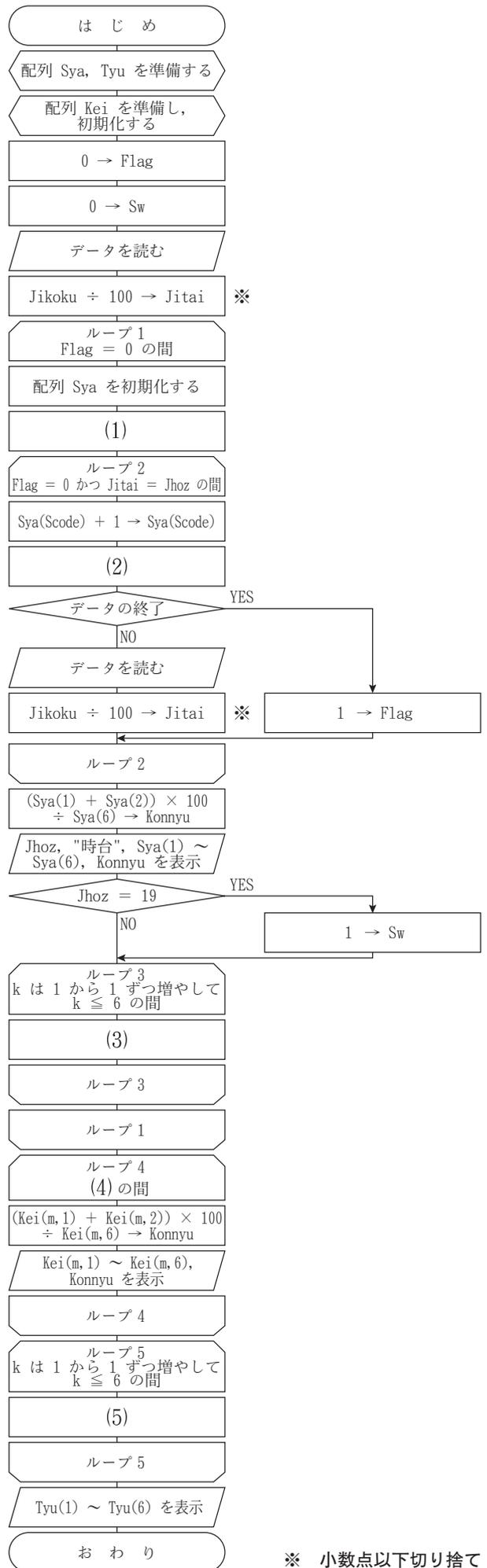
Tyu	(0)	(1)	(2)	～	(5)	(6)
				～		

- データにエラーはないものとする。

解答群

- ア. Jitai → Jhoz
- イ. Kei(Scode, k) + Sya(k) → Kei(Scode, k)
- ウ. Sya(6) + Scode → Sya(6)
- エ. Kei(Sw, k) + Sya(k) → Kei(Sw, k)
- オ. m は 1 から 1 ずつ増やして $m \leq 6$
- カ. Sya(6) + 1 → Sya(6)
- キ. Kei(k, 0) ÷ Kei(k, 1) → Tyu(k)
- ク. Jikoku → Jhoz
- ケ. m は 0 から 1 ずつ増やして $m \leq 1$
- コ. Kei(0, k) ÷ Kei(1, k) → Tyu(k)

<流れ図>



※ 小数点以下切り捨て

【 6 】 流れ図の説明を読んで、流れ図の(1)～(5)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

<流れ図の説明>

処理内容

ある国の30年分の輸出入データを読み、貿易収支の変化と傾向（単位：百万円）をディスプレイに表示する。

入力データ

年（西暦） (Nen)	輸出入コード (Yu)	品目コード (Hin)	輸出入額（百万円） (Gaku)
××××	×	×××	××～××

(第1図)

実行結果

		(貿易収支の変化と傾向 (単位：百万円))							
(分類名)	(品目名)	(輸出額)	(輸入額)	(貿易収支)	～	(輸出額)	(輸入額)	(貿易収支)	(傾向分析)
機械類	一般機械	76,051,333	16,076,197	59,975,136	～	145,133,229	102,267,568	42,865,661	減少
	電気機器	27,122	506,711	-479,589	～	1,096,828	606,630	490,198	増加
	自動車等	72,509,802	14,707,496	57,802,306	～	152,605,140	64,008,512	88,596,628	増加
}	}	}	}	}	}	}	}	}	}
原材料	繊維	129,735	1,676,040	-1,546,305	～	473,123	2,068,510	-1,595,387	停滞
}	}	}	}	}	}	}	}	}	}

(第2図)

処理条件

- 第1図の輸出入コードは1（輸出）と2（輸入）である。なお、品目コードは次の例のように構成されており、分類コードは1（機械類）～8（雑製品）である。また、各品目1件以上の輸出入があるものとする。

例 3 1 2 → 3 1 2
分類コード 連番

- 配列 Bname に分類名を記憶する。なお、Bname の添字は分類コードと対応している。

配列

Bname	(0)	(1)	(2)	～	(7)	(8)
		機械類	食料品	～	原材料	雑製品

- 配列 Hcode に品目コードを、配列 Hname に品目名を、品目コードの昇順に記憶する。なお、品目は80種類であり、Hcode と Hname の添字は対応している。

配列

Hcode	Hname
(0)	(0)
(1) 101	(1) 一般機械
(2) 102	(2) 電気機器
}	}
(79) 804	(79) バッグ
(80) 805	(80) 衣類

- 処理のはじめに、現在の年（西暦4桁）をキーボードから入力する。
- 第1図の入力データを読み、次の処理を行う。
 - 品目コードをもとに配列 Hcode を探索し、配列 Syu に過去30年分の輸出入額（百万円）を10年分ごとに集計する。なお、Syu の行方向の添字は Hcode の添字と対応している。

配列

Syu	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
(0)							
(1)							
(2)							
}	}	}	}	}	}	}	}
(79)							
(80)							

(輸出額) (輸入額) (輸出額) (輸入額) (輸出額) (輸入額)
(30～21年前) (20～11年前) (10～1年前)

- 入力データが終了したら、分類が変わるごとに分類名を表示し、品目名から傾向分析までを第2図のように表示する。なお、貿易収支は輸出額と輸入額の差を求める。また、傾向分析は増減率（％）を次の計算式で求め、10 以上の場合は 増加 を、-10 以下の場合は 減少 を、それ以外の場合は 停滞 とする。

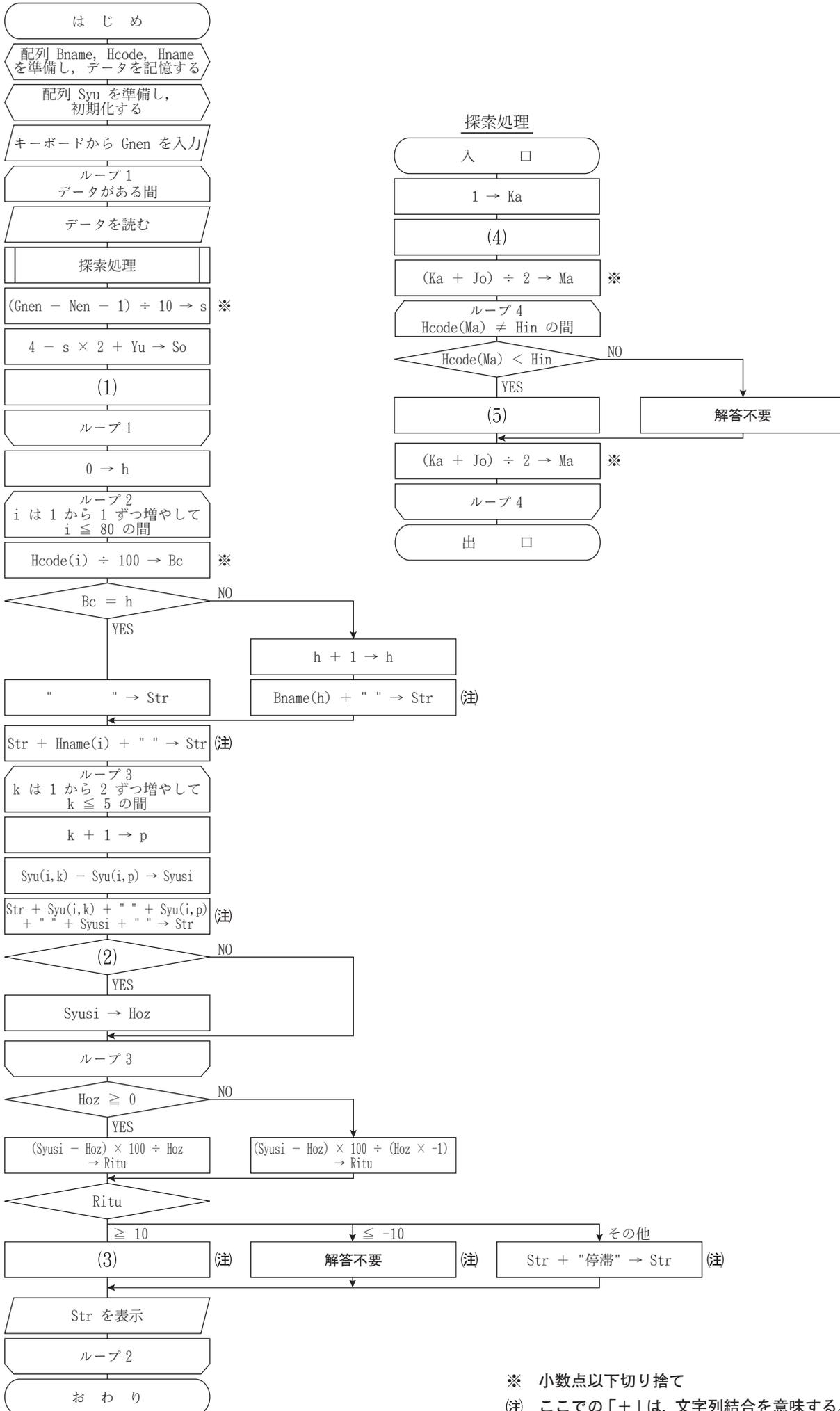
$$\text{増減率 (\%)} = (\text{10～1年前の貿易収支} - \text{30～21年前の貿易収支}) \times 100 \div \text{30～21年前の貿易収支の絶対値}$$

- データにエラーはないものとする。

解答群

- ア. Syu(So, Ma) + Gaku → Syu(So, Ma)
- イ. Str + "減少" → Str
- ウ. k = 1
- エ. Ma - 1 → Jo
- オ. 80 → Jo
- カ. Hin → Jo
- キ. Syu(Ma, So) + Gaku → Syu(Ma, So)
- ク. Str + "増加" → Str
- ケ. Ma + 1 → Ka
- コ. k = 5

<流れ図>



※ 小数点以下切り捨て

(注) ここでの「+」は、文字列結合を意味する。

<Javaプログラム>

```

//クラスGenre
import java.util.ArrayList;
public class Genre {
    private static String[] cName = { "合計", "未成年", "男20～59歳", "女20～59歳", "男60歳以上", "女60歳以上" };
    private ArrayList<String> tName = new ArrayList<String>();
    private int[] pt;
    private int[] gTotal;
    private String gName;
    public Genre(String gName) {
        this.gName = gName;
    }
    // ⑧ 省略されているメソッドの詳細は処理条件10
    public void calc(int cCode, int sNum) {
        (1);
        gTotal[0][sNum] += 1;
    }
    public void sort() {
        for(int m = 1; m < tName.size(); m++) {
            int n, work = pt[m];
            for(n = m; n > 0 && gTotal[0][pt[n - 1]] < gTotal[0][work]; n--) {
                pt[n] = (2);
            }
            pt[n] = work;
        }
    }
    public void printResult() {
        System.out.printf("ジャンル：%8s\n", (3));
        for(int i = 0; i < tName.size(); i++) {
            System.out.printf(" %8s\t%3d回\n", tName.get(pt[i]), gTotal[0][pt[i]]);
        }
    }
    public void printResult(int aCode){
        System.out.printf("ジャンル：%8s\n", (4));
        for(int i = 0; i < cName.length; i++) {
            int m = (4);
            for(int j = 1; j < gTotal[0].length; j++) {
                if((aCode == 11 && gTotal[i][j] > m) || (aCode == 12 && gTotal[i][j] < m)) {
                    m = gTotal[i][j];
                }
            }
            System.out.printf(" %8s\t%3d回", cName[i], m);
            for(int j = 0; j < gTotal[0].length; j++) {
                if(gTotal[i][j] == m) {
                    System.out.printf(" %8s", tName.get(j));
                }
            }
            System.out.println();
        }
    }
}
//クラスRental
import java.io.BufferedReader;
public class Rental {
    private static String[] gName = { "", "ファンタジー", "サスペンス", "アニメ" };
    private static Genre[] gObj = new Genre[10];
    public static void main(String[] args) {
        for(int i = 1; i < gName.length; i++) {
            gObj[i] = new Genre(gName[i]);
        }
        try {
            BufferedReader fileIn1 = new BufferedReader(new FileReader("title.csv"));
            String line;
            while((line = fileIn1.readLine()) != null) {
                String[] str = line.split(",");
                int tCode = Integer.parseInt(str[0]);
                String tName = str[1];
                gObj[tCode / 10000].setData(tName);
            }
            fileIn1.close();
            for(int i = 1; i < gObj.length; i++) {
                gObj[i].arrayDim();
            }
            BufferedReader fileIn2 = new BufferedReader(new FileReader("rental.csv"));
            while((line = fileIn2.readLine()) != null) {
                String[] str = line.split(",");
                int cCode = Integer.parseInt(str[2]);
                int tCode = Integer.parseInt(str[3]);
                gObj[tCode / 10000].calc(cCode, tCode % 10000);
            }
            fileIn2.close();
        } catch (Exception e) {
            System.out.println("エラーが発生しました" + e);
        }
        for(int i = 1; i < gObj.length; i++) {
            gObj[i].sort();
        }
        Scanner keyboardIn = new Scanner(System.in);
        System.out.print("ジャンルコード(1～9)を入力してください→");
        int gCode = keyboardIn.nextInt();
        while(gCode != 0) {
            System.out.print("分析コード(10:合計の降順, 11:各客層の最多, 12:各客層の最少)を入力してください→");
            int aCode = keyboardIn.nextInt();
            if(aCode == 10) {
                gObj[gCode].printResult();
            } else {
                gObj[gCode].(5);
            }
            System.out.print("ジャンルコード(1～9)を入力してください→");
            gCode = keyboardIn.nextInt();
        }
        keyboardIn.close();
    }
}

```

【7】 プログラムの説明を読んで、プログラムの(1)~(5)を答えなさい。

<プログラムの説明>

処理内容

あるカフェチェーンの店舗データと1か月分の売上データを読み、集計結果と項目別・店舗別分析を表示する。

入力データ

店舗データ (ファイル名: tempo.csv)

店舗コード	店舗名	客席数
×××	×～×	×××

(第1図)

売上データ (ファイル名: uriage.csv)

日付	曜日コード	店舗コード	売上金額	客数
××××	××	×××	×～×	××××

(第2図)

ユーザーフォーム・実行結果

集計結果				
店舗数	売上金額合計	客数合計	客単価	客席回転率
98	288,163,720	764,360	377	7.4
(Label1)				
分析項目				
項目コード	項目名			
(TextBox1) 4	(Label12) 客席回転率			
<input type="button" value="処理"/> <input type="button" value="クリア"/> <input type="button" value="終了"/>				
項目別・店舗別分析				
店舗名	月計	平日計	休日計	
新宿文化ビル店	12.9	11.1	18.0	▲
東京汐留店	12.5	10.7	17.8	
}	}	}	}	
津田沼北口店	5.1	4.4	7.1	
御成門駅前店	5.0	4.2	7.3	▼
(TextBox2)				

(第3図)

処理条件

- 第1図のデータは、店舗コードの昇順に記録されている。なお、店舗コードは1からの連番であり、店舗は100以下である。
- 第2図のデータは、日付の昇順に記録されている。なお、曜日コードは1(月)~5(金)が平日であり、6(土), 7(日), 10(祝日)が休日である。また、全店舗毎日営業している。
- ユーザーフォーム初期化時に、次の処理を行う。
 - 配列 Komoku に項目名を記憶する。なお、第3図の項目コードは1~4であり、Komoku の添字と対応している。

配列

Komoku	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)
		売上金額	客数	客単価	客席回転率

- 第1図の店舗データを読み、配列 Tenpo に店舗名を、配列 Seki に客席数を記憶する。なお、Seki(0)には合計を求める。また、Tenpo, Seki の添字は店舗コードと対応している。

配列

Tenpo		Seki	
(0)		(0)	(合計)
(1)	水戸駅ビル店	(1)	29
(2)	宇都宮駅前店	(2)	38
}	}	}	}
(100)		(100)	

- 第2図の売上データを読み、配列 Usyu に売上金額を、配列 Ksyu に客数を、配列 Nsyu に日数を集計し、月計、平日計、休日計を求める。なお、Usyu(0, 0) と Ksyu(0, 0) には合計を求める。また、Usyu, Ksyu の行方向の添字は店舗コードと、列方向の添字は Nsyu の添字と対応している。

配列

Usyu	(0)	(1)	(2)	(合計)	Ksyu	(0)	(1)	(2)	(合計)	Nsyu	(0)	(1)	(2)
(0)					(0)								
(1)					(1)						(月計)	(平日計)	(休日計)
}	}	}	}	}	}	}	}	}	}				
(100)					(100)								
	(月計)	(平日計)	(休日計)			(月計)	(平日計)	(休日計)					

- データを読み終えたあと、客単価と客席回転率を次の計算式で求め、第3図のように Label1 に集計結果を表示する。

$$\text{客単価} = \frac{\text{売上金額合計}}{\text{客数合計}}$$

$$\text{客席回転率} = \frac{\text{客数合計}}{\text{(日数月計) × 客席数合計}}$$

- 第3図のように TextBox1 に項目コードを入力し、「処理」ボタンをクリックすると、次の処理を行う。
 - 配列 Work を利用して、入力した項目コードが1の場合は売上金額を、2の場合は客数を、3の場合は客単価を求め、4の場合は客席回転率を求め、月計の降順に並べ替える。なお、Work の行方向の添字は店舗コードと、列方向の添字は項目コードと対応している。

配列

Work	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)
(0)					
(1)					
}	}	}	}	}	}
(100)					
	(月計)	売上金額の 店舗コード	客数の 店舗コード	客単価の 店舗コード	客席回転率の 店舗コード

- 入力した項目コードについて、第3図のように Label2 に項目名を、TextBox2 に項目別・店舗別分析を表示する。なお、項目コードが3の場合は月計客単価と同様に、平日計客単価と休日計客単価を求めて表示する。また、4の場合は月計客席回転率と同様に、平日計客席回転率と休日計客席回転率を求めて表示する。

< マクロ言語プログラム >

```

Option Explicit
Dim Komoku(4) As String, Ken As Long, Tenpo(100) As String, Seki(100) As Long, Usyu(100, 2) As Long, ~ Work(100, 4) As Double

Private Sub UserForm_Initialize()
    Dim Tco As Long, Hi As Long, Yco As Long, Ukin As Long, Ksu As Long, Hozon As Long, Retu As Long, Gtanka As Long, Gkaiten As Double
    Komoku(1) = "売上金額": Komoku(2) = "客数": Komoku(3) = "客単価": Komoku(4) = "客席回転率"
    Call Syokika: Label1.Caption = ""
    Open ThisWorkbook.Path & "¥tenpo.csv" For Input As #1
    Do While Not EOF(1)
        Ken = Ken + 1
        Input #1, Tco, Tenpo(Ken), Seki(Ken)
        Seki(0) = Seki(0) + Seki(Ken)
    Loop
    Close #1
    Open ThisWorkbook.Path & "¥Yuriage.csv" For Input As #2
    Do While Not EOF(2)
        Input #2, Hi, Yco, Tco, Ukin, Ksu
        If Hi <> Hozon Then
            Retu = Int(Yco / 6) + 1
            Nsyu(Retu) = Nsyu(Retu) + 1
            (1)
        End If
        Usyu(Tco, Retu) = Usyu(Tco, Retu) + Ukin
        Usyu(Tco, 0) = Usyu(Tco, 0) + Ukin
        Usyu(0, 0) = Usyu(0, 0) + Ukin
        (2)
        Ksyu(Tco, 0) = Ksyu(Tco, 0) + Ksu
        Ksyu(0, 0) = Ksyu(0, 0) + Ksu
    Loop
    Close #2
    Gtanka = Usyu(0, 0) / Ksyu(0, 0)
    Nsyu(0) = Nsyu(1) + Nsyu(2)
    Gkaiten = Ksyu(0, 0) / (Nsyu(0) * Seki(0))
    Label1.Caption = " " & Format(Format(Ken, "##0"), "###") & " " & _
        Format(Format(Usyu(0, 0), "###,###,##0"), "#####") & " " & _
        Format(Format(Ksyu(0, 0), "###,###,##0"), "#####") & " " & _
        Format(Format(Gtanka, "##,##0"), "#####") & " " & _
        Format(Format((3), "#0.0"), "###")
End Sub

Private Sub 処理_Click()
    Dim Kco As Long, h As Long, m As Long, Soe As Long, j As Long, Tanka As Long, Kaiten As Double
    TextBox2.Text = ""
    Kco = Val(TextBox1.Text)
    Label2.Caption = Komoku(Kco)
    If Work(0, Kco) <> 999 Then
        For h = 1 To Ken
            Select Case Kco
                Case 1
                    Work(0, 0) = Usyu(h, 0)
                Case 2
                    Work(0, 0) = Ksyu(h, 0)
                Case 3
                    Work(0, 0) = Usyu(h, 0) / Ksyu(h, 0)
                Case 4
                    Work(0, 0) = Ksyu(h, 0) / (Nsyu(0) * Seki(h))
            End Select
            m = h
            Do While Work(m - 1, 0) < Work(0, 0)
                Work(m, 0) = 解答不要: Work(m, Kco) = (4)
                m = m - 1
            Loop
            Work(m, 0) = Work(0, 0): Work(m, Kco) = h
        Next h
        Work(0, Kco) = 999
    End If
    For h = 1 To Ken
        (5)
        TextBox2.Text = TextBox2.Text & Tenpo(Soe)
        For j = 0 To 2
            Select Case Kco
                Case 1
                    TextBox2.Text = TextBox2.Text & " " & Format(Format(Usyu(Soe, j), "##,###,##0"), "#####")
                Case 2
                    TextBox2.Text = TextBox2.Text & " " & Format(Format(Ksyu(Soe, j), "##,###,##0"), "#####")
                Case 3
                    Tanka = Usyu(Soe, j) / Ksyu(Soe, j)
                    TextBox2.Text = TextBox2.Text & " " & Format(Format(Tanka, "##,##0"), "#####")
                Case 4
                    Kaiten = Ksyu(Soe, j) / (Nsyu(j) * Seki(Soe))
                    TextBox2.Text = TextBox2.Text & " " & Format(Format(Kaiten, "#0.0"), "###")
            End Select
        Next j
        TextBox2.Text = TextBox2.Text & Chr(13) & Chr(10)
    Next h
End Sub

Private Sub クリア_Click()
    Call Syokika
End Sub

Private Sub 終了_Click()
    End
End Sub

Private Sub Syokika()
    TextBox1.Text = "": TextBox2.Text = "": Label2.Caption = ""
End Sub

```

(注) 使用例 `Format(Format(1234.5, "###,##0.0"), "#####")`

└─▶ 「1,234.5」
└─▶ 「 1,234.5」

(平成29年 9月24日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

平成29年度 (第57回) 情報処理検定試験プログラミング部門 第1級

解 答 用 紙

【1】

1	2	3	4	5

【2】

1	2	3	4	5

【3】

1	2	3	4	5

小 計

【4】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

【5】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

【6】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

小 計

..... [J a v a] ・ [マ ク ロ 言 語]

【7】

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	

試験場校名	受験番号	選択言語	
		J a v a	マクロ言語

小 計

合 計

選択言語を で囲むこと

(平成29年 9月24日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

平成29年度 (第57回) 情報処理検定試験プログラミング部門 第1級

審査基準

【1】	1	2	3	4	5	各2点 計10点
	シ	オ	サ	キ	イ	

【2】	1	2	3	4	5	各2点 計10点
	コ	ウ	キ	オ	カ	

【3】	1	2	3	4	5	各2点 計10点
	イ	ア	ウ	ア	イ	

小 計

30

【4】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	各3点 計15点
	エ	ア	イ	ウ	ア	

【5】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	各3点 計15点
	ア	カ	エ	ケ	コ	

【6】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	各3点 計15点
	キ	ウ	ク	オ	ケ	

小 計

45

..... [J a v a] ・ [マ ク ロ 言 語]

[J a v a] (注) =, 演算子の前後の空白は問わない。

【7】	(1)	g T o t a l [c C o d e] [s N u m] += 1			
	(2)	p t [n - 1]			
	(3)	g N a m e			
	(4)	g T o t a l [i] [0]			
	(5)	p r i n t R e s u l t (a C o d e)			

[マ ク ロ 言 語] (注) 大文字, 小文字および=, 演算子の前後の空白は問わない。

【7】	(1)	H o z o n = H i			
	(2)	K s y u (T c o , R e t u) = K s y u (T c o , R e t u) + K s u			
	(3)	G k a i t e n			
	(4)	W o r k (m - 1 , K c o)			
	(5)	S o e = W o r k (h , K c o)			

各5点 計25点

試験場校名	受験番号	選択言語		小 計	合 計
		J a v a	マ ク ロ 言 語	25	100

選択言語を で囲むこと